



美里中だより

第 6 号
令和8年9月18日
美里町立美里中学校

学校教育目標『学び 共感し 鍛え 10年後の社会を形成する生徒の育成』

【目指す生徒像】☆自ら問いを立て、探究を通じて学びを深め、失敗を恐れず挑戦し続ける生徒 ☆多様な価値観を尊重し、対話を通じて協働し、学び続ける意欲を持つ生徒 ☆自分の意志で行動し、社会に働きかけながら、よりよい未来の創り手となる生徒

【目指す学校像】 生徒自ら【問い】を立て、仲間と深く対話し、【主体的】に【参画】する学校

HP 更新中



子供たちの「幸せ」を真ん中に置いた学校づくり～ウェルビーイングの視点から～

近年、教育の現場では「ウェルビーイング」という言葉が大切にされています。これは単なる一時的な喜びを指すのではなく、「身体的・精神的・社会的に良い状態」であることを意味し、持続的な幸福を含む深い概念です。学校は、子供たちが他者との関わりを通じて、それぞれの幸せや生きがいを感じられる場であることが求められています。全国学力・学習状況調査でもこの視点が導入されており、分析によると、子供たちの幸せを支える要因は成績そのものよりも、「友達関係」や「教師からのサポート」、そして「自己肯定感」といった他者とのつながりや自分を認める力であることが明らかになっています。

本年度の本校における調査結果から、子供たちの現状を知るための大切なヒントが見えてきました。まず、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という主観的幸福感に関する質問では、全国や県の平均（以下、平均）を上回る結果となりました。また、「自分には、よいところがあると思いますか」という自己肯定感についても平均並みの数値を示しています。多くの生徒が日々の生活の中に幸せを見出し、自分を肯定できている現状は、本校の教育活動や良好な友達関係が基盤になっていると言えるでしょう。

一方で、より丁寧に向き合っていかなければならない課題も見えています。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という教師サポートの実感については、平均を下回る結果となりました。これまでの研究では、教師が子供の良さを認め、学習や生活の不安に寄り添う「教師サポート」が充実することで、子供の自己肯定感が高まり、それが主観的幸福感へとつながっていくという循環が示されています。生徒たちが感じている現在の幸せをさらに高め、持続させていくためにも、私たち教職員は一人ひとりの良さを丁寧に見つけ、温かく寄り添う姿勢を一層強めていく必要があります。

子供たちのウェルビーイングを育むためには、学

校と家庭が手を取り合い、共に「循環」の一部を担うことが欠かせません。今回の調査結果の中で、共に考えていきたいのが、家庭との関わりに関する2つの分析結果です。1つ目は、「学校の勉強のことにについて、あなたの家族は、どれくらいあなたと話しますか」という項目です。本校の生徒は平均と比べて、家庭での学習に関する対話の頻度が低い傾向にあります。2つ目は、「学校での悩みについて、あなたの家族は、どれくらいあなたと話しますか」という問いです。これに対し、平均よりも多くの生徒が「ほとんど、または全くしない」と回答していました。子供が学校での悩みや不安を、安心できるはずの家庭でなかなか話しづらいと感じているのかもしれないという現状は、私たち大人がそっと立ち止まって見つめ直したい大切なポイントです。学校での教師による支援が欠かせないのと同じように、家庭での「対話」も、子供の心に温かな居場所をつくるための大切な役割を担っています。

ウェルビーイングの向上には、子供を取り巻く環境全体が「良い状態」である必要があります。そのためには、子供との向き合い方を時代に合わせて見つめ直し、共にアップデートしていく必要があるのかもしれません。子供が悩みを話しにくいと感じる背景には、私たち大人の側に、彼らの声をゆとりをもって受け止める準備が十分にできていないという課題が隠れている可能性もあります。教師に心や時間の余裕が必要なのと同様に、日々の忙しさの中で、ほんの少しだけ「子供の話に耳を傾ける」時間と心の余白を意識していただけると幸いです。

学力も大切ですが、それ以上に「今の自分が好きだ」「周りの大人が自分を認めてくれている」と子供たちが実感できることで、学びへの意欲も高まり、将来の幸せへとつながります。学校と家庭は、子供の幸せを支える両輪です。今回の結果を一つのきっかけとして、子供たちが「今日も幸せだ」と心から思える学校・地域を共に創っていただくと願っております。

資源回収実施

8月22日（土）に第1回PTA資源回収を実施しました。暑い中、ご協力ありがとうございました。収益金が、¥679,510（資源回収¥405,810+補助金¥273,700）でした。よりよい教育活動に向け活用させていただきます。

第2回PTA資源回収は、12月5日（土）です。ご協力をお願いいたします。



社会体験チャレンジの実施

9月3日（木）、4日（金）に、社会体験チャレンジを実施しました。1学年の生徒たちはそれぞれの事業所で働く方々と接しながら、仕事の大変さややりがい、作業の進め方など、多くのことを学ぶよい経験となりました。今回の体験を通して、「働くとはどういうことだろう」と考える貴重な学びの時間となりました。生徒を温かく迎え入れてくださった事業所の皆様、ありがとうございました。



生命（いのち）の授業の実施

9月8日（水）に2学年を対象として、生命（いのち）の授業を実施しました。NPO法人くまがやピンクリボンの会からがん体験者の講師をお迎えし、ご自身の経験をもとに、「2人に1人ががんに罹患する時代。現役世代こそ正しい知識をもってほしい。」とメッセージが伝えられ、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。今回の授業で得た気づきが、生徒一人ひとりの健康への意識を高めるきっかけとなることを願っています。



美里町からの教育支援（教材補助費）

今年度も、美里町より教材費の補助金を一人5,000円ずつ支給していただきました。

美里町の学校教育への理解に感謝するとともに、子供たちの学習活動のために有効に活用させていただくことをお約束いたします。

10月の予定

A日課,B日課の日程についてはHPに掲載しています。

10月	学校行事等	日課	10月	学校行事等	日課
1 木	開校記念日、第56回体育祭(部活動休養日)、ふれあいデー	特別	17 土		
2 金	体育祭予備日、英検準会場	B5	18 日		
3 土			19 月	(部活動休養日)	B5
4 日			20 火	生徒会提案授業	B6
5 月	校長会テスト、新人県大会激励会	A5	21 水		A6
6 火		B6	22 木	生徒会役員改選(実行委員の日・部活動休養日)、ふれあいデー	B6
7 水	新人陸上県大会①、生徒評議会	A5	23 金	全学年リーダーシップ講座	A6
8 木	新人陸上県大会②、生徒会専門委員会(生徒会の日・部活動休養日)	B6	24 土		
9 金	全校朝会(校長講話)、第2回PTA 理事会	A6	25 日		
10 土			26 月	教育相談・フリー参観(～30日)	特別
11 日			27 火	生徒会朝会(引継式)、英検二次面接練習	特別
12 月	スポーツの日		28 水	英検二次面接練習	特別
13 火	月曜日課	B5	29 木	(部長会・部活動休養日)	特別
14 水	第2回学校運営協議会	A6	30 金	3年期末テストワーク強化週間、まちづくりフィールドワーク	特別
15 木	郡市駅伝競走大会(学級の日・部活動休養日)	B6	31 土		
16 金	郡市駅伝競走大会予備日	A6			